



まきのはらし
はたちのつどい
▲実行委員が考えた「はたちのつどい」オリジナルロゴ

令和
8年

牧之原市

はたちの集い

令和8年牧之原市はたちの集いが1月11日、いっらで開催され、市内在住・出身者308人が出席しました。

第一部の式典では、杉本市長による式辞、来賓から祝辞の後、「はたちの集い実行委員」代表の秋山さんと西尾さんが、代表のことばとして周回への感謝の気持ちや今後の決意などを述べました。その後、参加者には市からの記念品として、静岡牧之原茶のティーバッグと実行委員考案のオリジナルロゴ入りボールペンが贈られました。

また、サブライズメッセージとして、市出身で「静岡まきのほら大使」であり中日ドラゴンズで活躍中の村松開人さんから、動画によるお祝いメッセージをいただきました。

第二部では、中学時代の恩師から二十歳を迎えた教え子に向けたお祝いの言葉や、実行委員会による記念アトラクションを実施。アトラクションでは、市にまつわるクイズと、参加者へのインタビュが行われ、会場は大いに盛り上がりました。

最後に、二十歳を迎えた対象者も参加し、はいばら太鼓保存会による力強い演奏で二十歳を迎える皆さんを祝い、市制施行20周年の節目の年に挙行された式典が締めくくられました。



当日の様子は
YouTubeで
公開中

代表のことば(抜粋)



あきま こうき
秋山 幸輝さん

二十歳という節目の年にこれまでを振り返ると、思い出すのは数多くの出会いがありました。これから先も出会いがなくなることはないと思います。

私たちの未来は、これからの行動にかかっています。自分の個性を尊重し「自分らしく」を大切に、まだまだ未熟な私たちですが、誰よりも輝く大人になり、新しい時代の一員となるよう成長していきたいです。



にしお あゆみ
西尾 亜優美さん

二十歳間を振り返ってみると、手を引き、背中を押し、支えてくれた家族や先生、友人、地域の方々のおかげでここまで成長することができました。これまでのどんな瞬間も大切に、かけがえのない時間だと思っています。

今日を境に、大人としての自覚が突然生まれるとは思っていませんが、自分の言動に責任を持ち、自分のできることを見つけ、少しずつでも社会に貢献していきたいです。